

第4回 蒸気噴出対策連絡会議 ご説明資料

2023年8月8日
三井石油開発株式会社

MITSUI OIL EXPLORATION CO.,LTD.

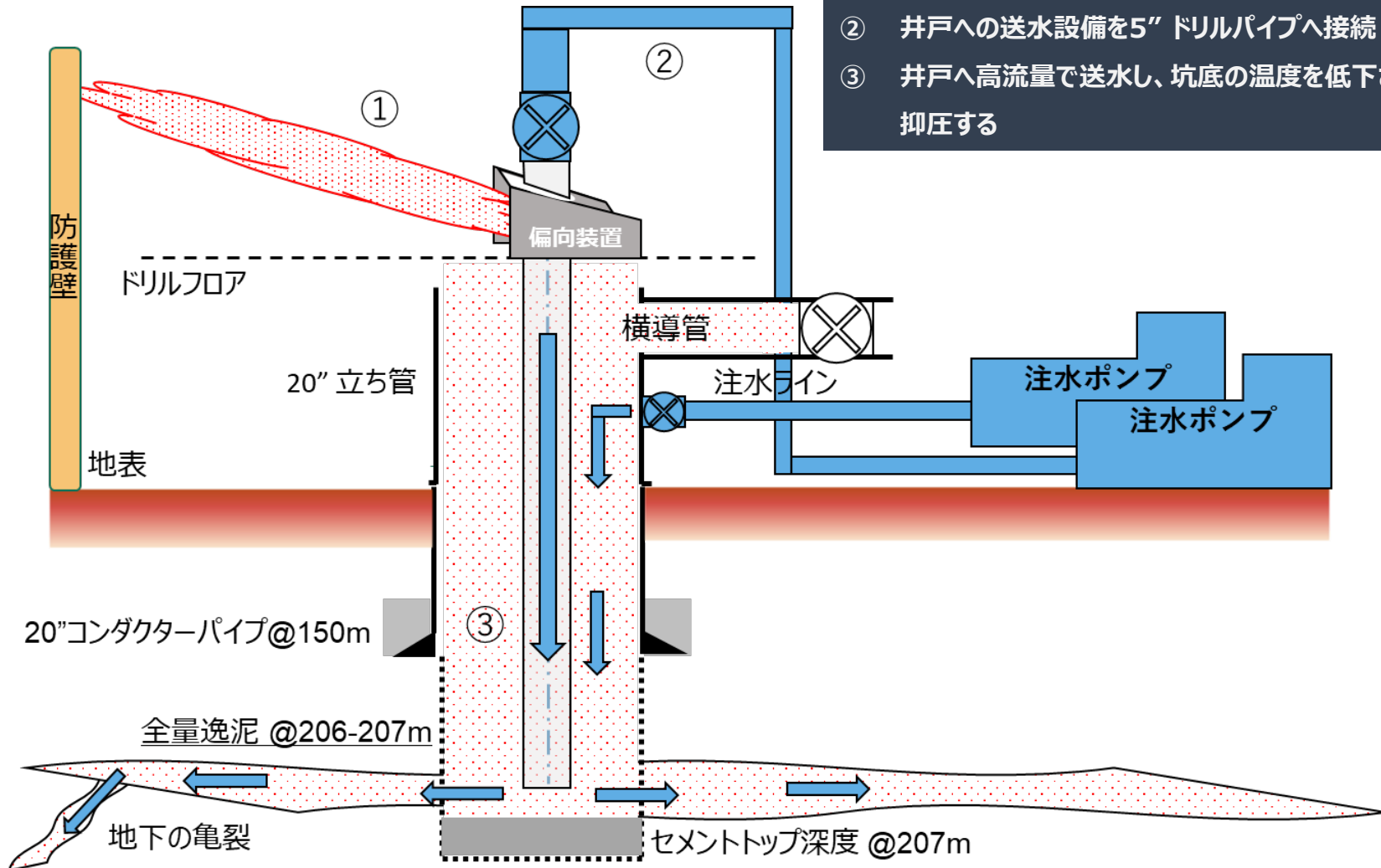
1. 噴出抑制策の進捗・噴出水の状況
 - 噴出抑制作業中の交通規制のお知らせ
 - 噴出抑制対応計画
 - 噴出抑制準備対応の状況
 - 現場内噴出水の流れ
 - 偏向装置試験の概要
 - 噴出抑制作業実施中のH₂S モニタリング
2. 質疑応答
3. 次回の蒸気噴出対策連絡会議について

-

1-2. 噴出抑制対応計画（ベースケース）

防御ネット等設置し、場外への蒸気の噴出・噴出水の場外流出を防止

- ① 蒸気の噴出方向を機械的に偏向し、ドリルフロア上での作業環境を確保
- ② 井戸への送水設備を5" ドリルパイプへ接続
- ③ 井戸へ高流量で送水し、坑底の温度を低下させ、噴出蒸気を抑圧する



1-3. 噴出抑制準備対応の状況

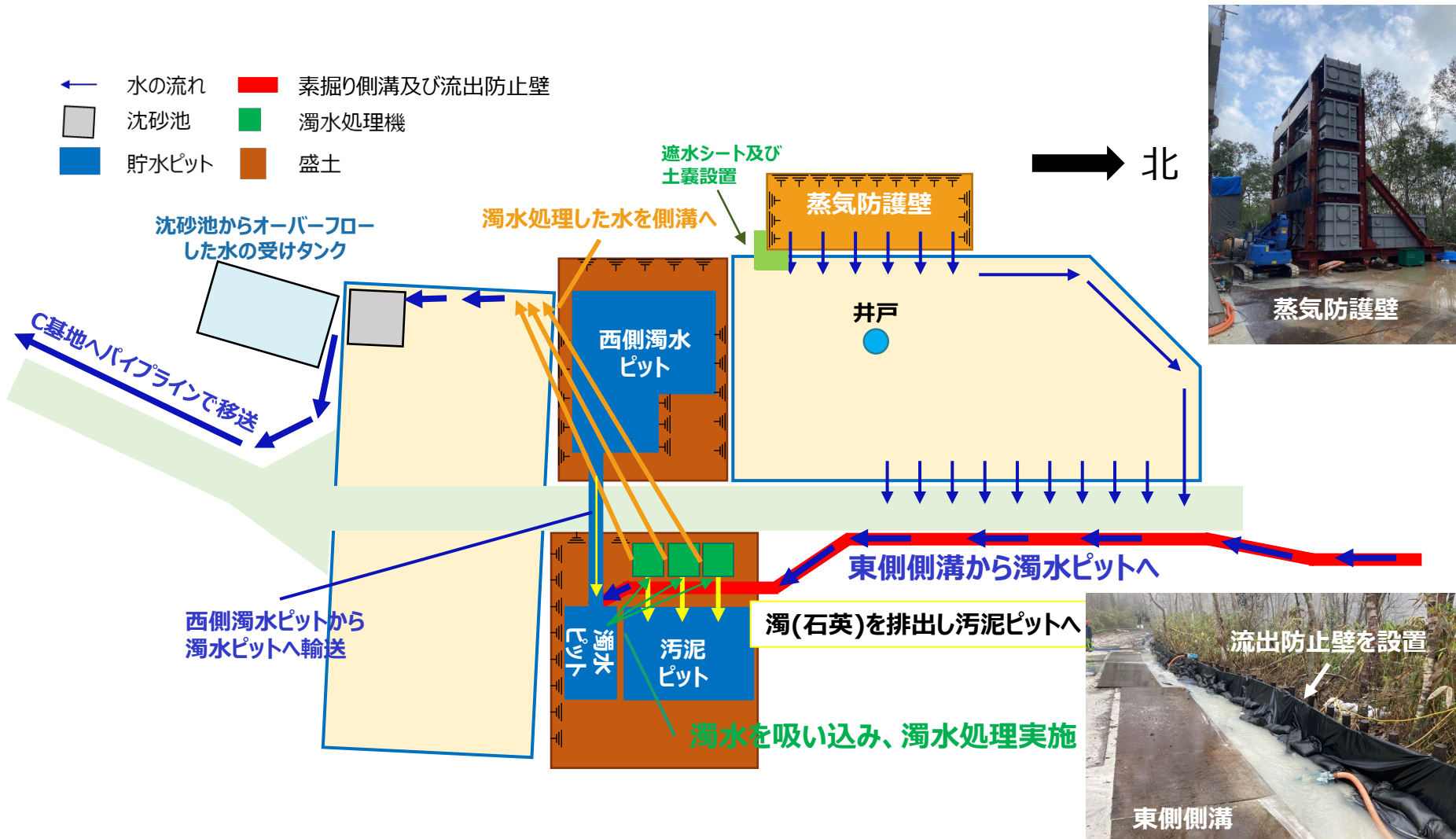
噴出抑制準備状況

- 蒸気防護壁設置完了 (8月5日)
- 偏向装置試験実施 (8月6日)
- 取水ライン敷設完了 (8月7日) => 8月8日 取水開始予定
- 大型円形貯水タンク設置完了 (8月7日)
- やぐら上部の状態及び作業性確認中
- 抑制作業用地上配管敷設中

噴出水流出対策

- 東側側溝の増強工事(流出防止壁の設置)完了 (8月6日)
- 西側ピット拡張・遮水シート設置工事完了 (8月8日)

1-4a. 現場内噴出水の流れ (8月10日)



1-4b. 偏向装置試験の概要

■ 実施日時：8月6日 14:00 – 14:30

■ 目的：

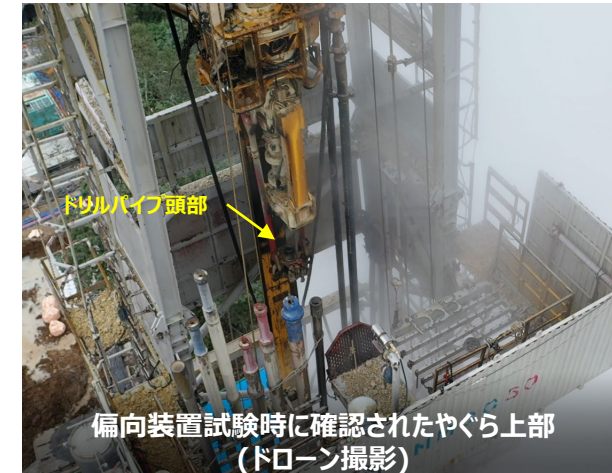
- ① 偏向装置と蒸気防護壁の機能性確認
- ② 偏向後の蒸気の流れ、フロアの視認性確認
- ③ 基地周辺の硫化水素ガス濃度の測定

■ 方法：

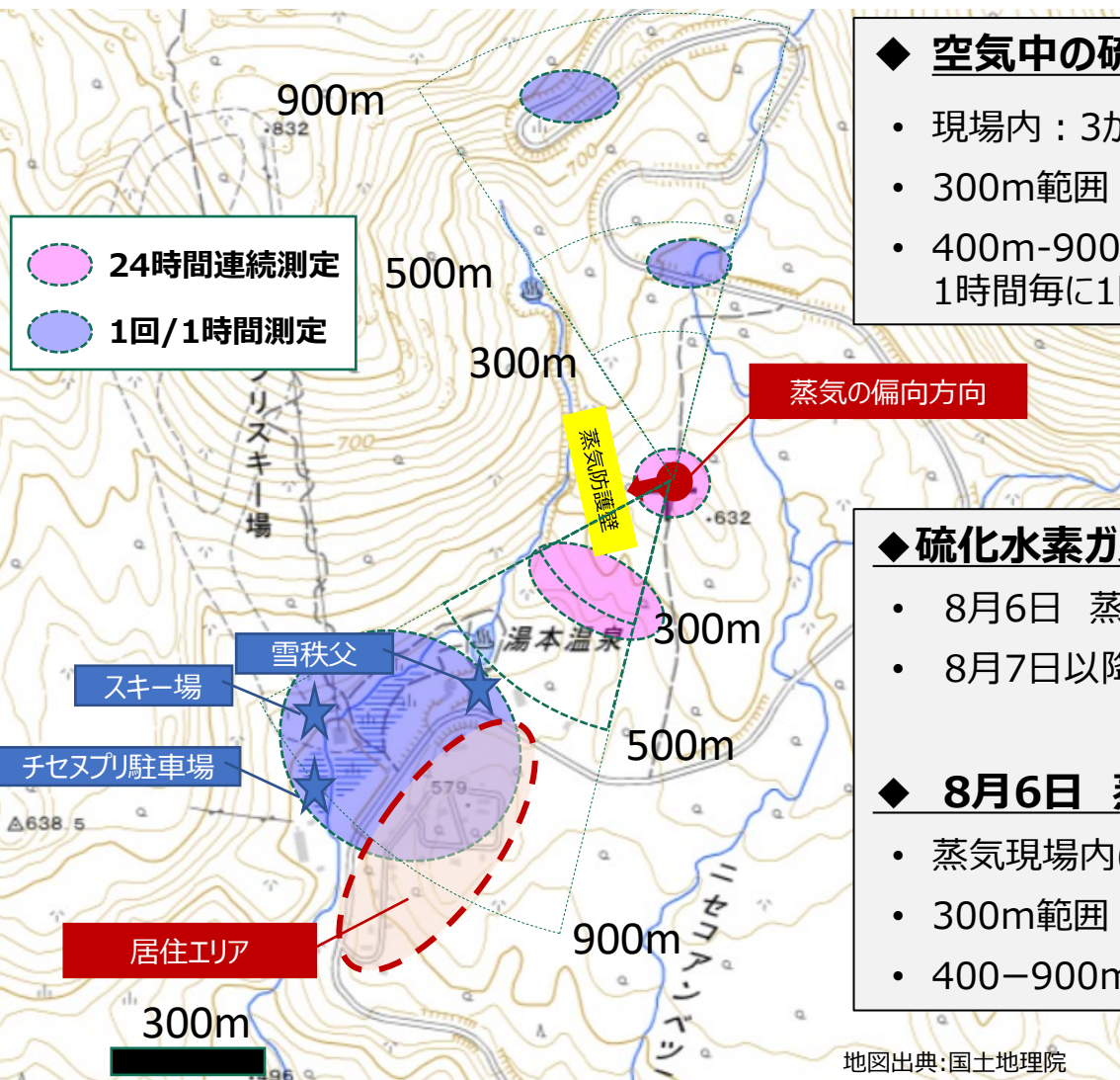
- ✓ 偏向装置を30分間仮設置し効果を視認検証
- ✓ 基地周辺に硫化水素センサーを複数台設置、硫化水素濃度測定

■ 結果：

- ① 西南西方向への偏向確認、作業を実施するやぐら上部の状態確認。蒸気防護壁にて多量の水の受け止め確認
- ② 偏向後の蒸気は上方向へ流れていく傾向。風向きによってはフロアの視認性低下
- ③ 現場周辺300mの地点に設置した硫化水素センサーでのガス検知無し
(次スライドに詳細)



1-4c. 噴出抑制作業実施中のH₂Sモニタリング



◆ 空气中的硫化水素ガス濃度測定位置（13か所）

- 現場内：3か所、24時間連続測定
- 300m範囲：3か所、24時間連続測定
- 400m-900m範囲（住居・観光域含）：7か所、各地点で1時間毎に1回測定

◆ 硫化水素ガス測定

- 8月6日 蒸気偏向テスト時(14:00-14:30)における測定
- 8月7日以降：抑制作業時(8:00-18:00)継続測定予定

◆ 8月6日 蒸気偏向テスト測定結果

- 蒸気現場内(事務所付近)： 0 ppm
- 300m範囲： 0 ppm
- 400-900m範囲： 0 ppm

地図出典:国土地理院

2. 質疑応答

- 挙手をお願いします。
- 弊社の者がマイクをお持ちします。
- ご質問に入る前に、
ご自身の所属をご共有ください。

3. 次回の蒸気噴出対策連絡会議について

開催日時：2023年8月22日(火) 13:30開始（予定）

議題（予定）：

1. 蒸気噴出抑制に関する現況
2. 質疑応答
3. 次回開催スケジュール